

岐阜県の プラスチック

- ・ 令和初の成形と金型の合同新年事業を開催
「厳しさ増す新時代の開幕を話し合う」
- ・ 講演要旨「5Gは未来生む通信システム」
- ・ 工業統計・事業所数6位、出荷額3位、付加価値額5位
- ・ 第52回総会は5月21日（木）グランヴェール岐山で開催
- ・ IoT研修会 ①AIツール導入 ②ロボットシステム導入

成形と金型の合同新年互礼会の会場



令和初の成形と金型の合同新年事業

互礼会 厳しさを増す新時代を話し合う 「5Gは未来生む通信システム」講演会

プラスチック工業組合と金型工業組合は1月24日、フォーラムホテルで合同事業『新春講演会』と『新年互礼会』を開催した。席上、両組合の理事長や来賓代表は「令和は開幕早々厳しさを増す経済と環境の変化を迎えている」とあいさつ、新時代の経営のあり方を示した。

互礼会に先立った新年講演会は、ソフトバンク(株)IoTエンジニアリング本部・東海IoT技術部の横井大祐担当課長を招き『ソフトバンクの描く近未来』をテーマに「第5世代移動通信システムは産業経済を革新し、近未来社会をつくる」と5Gが開く未来と経済効果を判りやすく講演した。

合同新年事業は、講演会では金型工業組合の黒田隆理事長、また、互礼会ではプラスチック工業組合の田中肇理事長が、次のように年頭あいさつをした。続いて増田雅彦県商工労働部次長ら来賓からは、激励のあいさつをもらった。

変化にコラボで立向う

——田中工業組合理事長のあいさつ——

田中肇プラスチック工業組合理事長は「令和初年は穏やかな幕開け、かと思っていたらミサイルが飛び、ゴーン元会長が飛び去り逆に新型肺炎がやってきた。新年早々、予期せぬ出来事に時代の変革を感じました。この産業界では環境問題に始まりIT、AI、IoT、さらには5Gというデジタル革新の波が押寄せてきている。令和の新時代を迎えたばかりなのに、見る見るうちに時代の変化に取

り巻かれおります…」と現況を憂い、さらに、「業界や企業は、変化や革新の波をどう受け止めればよいのか不安です。昨年、海外視察した時、環境や時代の変化を乗り切る策として、企業と企業が一体になって切り開く、コラボレーション経営を見てきました。個々の企業が持つ技術や能力をコラボすることによって、社会に認められ、企業として生き残っていく経営のあり方です。コラボの機会は身近にあります。組合内企業はもとより今日のような金型と成形の集まり、また見学会や



プラスチックと金型の両組合が合同で開催した新春講演会の開会

田中理事長の年頭あいさつ



増田県商工労働部次長の激励

展示会の機会を捉えるなど、周辺には数多くあります。あとは将来の経営に向かって踏み切っていくだけです」と企業のコラボを呼びかけた。

金型のデジタル化推進

——黒田金型工業組合理事長あいさつ——

黒田隆金型工業組合理事長は、

「組合の主力事業で高校生の金型コンテストを実施、4回目を無事に終わりました。例年と異なり、3Dプリンタを活用して金型を製作した高校生が現れ、デジタル新時代を感じました。願うなら県内金型会社に就職してもらいたい。また首相の施政方針に、IT強化で経済成長を目指す」とあり、業界はスピードをあげてデジタル化に取り組む必要性を感じた」と方針を話した。

施策活用し業界振興を

——増田県商工労働部次長のあいさつ——

増田雅彦岐阜県商工労働部次長は、

「県経済は米中の貿易摩擦が影響して低下傾向にありますが、雇用面では求人倍率1.89倍、全国5位にランクされています。県ではまず雇用環境の改善を目指し、人不足・人材確保に取り組んでいます。具体的には人材確保センターを設け、さらに外国人雇用をサポートする新事業も開始しました。一方、技術開発では昨年6月に産業技術総合センターを完成し、研究開発・技術支援を軌道に乗せました。人不足・人材確保に加えて、研究開発・技術支援の施策を活用し、業界振興を図ってほしい」と激励した。



講演会に続いて開催した新年互礼会。両組合員に講師、来賓、賛助会員を交えて懇親した

スマート金型近く完成

—新川岐阜大学金型技術センター副長—

スマート金型を研究開発する新川真人岐阜大学次世代金型技術研究センターの副長は、

「金型技術研究センターは現在、金型を中心としたスマート金型生産システムを制作中です。新年度には完成させ、地元金型業界へ技術提供します。新しくは名古屋大学と法人化して、全国国立大学初の東海国立大学が誕生・発足することです。岐阜大学の金型関連施設とスタッフは充実しており、大学は一層進展するので、成果を期待してほしい」と研究過程を説明した。

新ものづくり補助開始

—大沼中小企業団体中央会事務局長—

組合指導団体の大沼浩宣中央会事務局長は、
「中央会は国のものづくり補助金制度を担当して7年目に入りました。新年度はさらに使いやすい制度となり、3月には公募開始が予定されるので準備してください。新制度は中小企業庁が中小企業基盤整備機構に3600億円拠出して行う3年間限定の新事業です。従来のものづくり事業をはじめ、ITなどのデジタル化推進にい

たる幅広い制度融資です。また公募は年数回に分けて行うので利用しやすく、事業の改革や経営強化に役立ててほしい」と新制度を案内した。

施設増強し新体制発足

—梅村県産業技術総合センター所長—

梅村澄夫岐阜県産業技術総合センター所長は、
「試験研究機関を集約した総合センターが運用開始しました。この機会に研究施設を増強し技術開発競争に立ち向かえる新体制を整えました。講演にありましたように、5Gという新通信システムが登場しますが、従来の地場産業からデジタル関連まで、幅広く取り組んでいきます。技術相談・依頼試験・機器利用・人材育成の指導や研究を常時行っており、また成果発表会や講演会開催にも積極的に参加してほしい」と話した。

麒麟児の就職待ち望む

—杉山プラスチック工業組合副理事長—

杉山元彦プラスチック工業組合副理事長は、
「大河ドラマで光秀を麒麟児として描いています。麒麟とは想像の動物、麒麟児は才知に優れた人、業界へ麒麟児のような人材が就職してほしいですね」と話し、三本締めで閉会した。



「施設を増強、新体制のセンターを活用してほしい」とあいさつした梅村澄夫所長の発声で乾杯

新春講演会

ソフトバンクの描く 近未来

横井大祐さんの講演要旨

新春講演会はソフトバンク㈱IoTエンジニアリング本部・東海IoT技術部ソリューション技術1課の横井大祐担当課長を招いて『ソフトバンクの描く近未来』をテーマに、5Gが開く未来と経済効果を判りやすく話してもらった。

講師は国際企業としてあらゆる情報通信事業を手がけるソフトバンク㈱の事業を紹介した後①近未来への道のり②5G・AI・IoTの経済効果③ソフトバンクの描く近未来—を講演した。

次の講演要旨は互礼会のグループ懇談でも話題になった5Gとその未来に焦点を当ててみた。

5Gは超高速、多数同時に接続

○…5G(第5世代移動通信システム)は周波数の割り当てに続いて基地局整備計画が進み、ソフトバンクは3月にも商用サービスを開始する予定である。5Gは現状の4Gに比べてさらに大容量の超高速通信が可能で、しかも多数の通信機器と同時通信できる特徴がある。様々な製品にセンサーを取り付けたインターネットで管理するIoT社会が一気に進み、効率化と経済効果は計り知れない。

5Gがこれまでになかったタイムラグのない機能を持つことから自動車交通機関、ロボット精密操作、産業機器、セキュリティ、スマートメータ、その他IoT分野へと、対象領域は広がる。

今は5Gサービス開始夜明け前

○…ソフトバンクは商用サービス開始に向けて基地局整備計画を進め、早期に全国市町村で利用できるようにしていく。一方、基地局をコアにIoT・AIを活用するジョイント・ベンチャー



講演する横井大祐さん

と提携し、新しい価値や用途を創造・開発していく方針で、今は5Gの夜明け前といえる。

ソフトバンクは社会のIoT化を見通し、すでに公道での物流トラック隊列自動走行に加わり、車両の遠隔監視・遠隔操作を実証してきた。また5Gは4K・8Kの精密映像を伝送できることから、ヤフオクドームにソフトを提供し、スポーツ観戦に新たな感動を与えている。5G時代は、ヒトからあらゆるモノへとサービス対象を広げていく。

スマートビルのモデルが完成

○…描いた近未来の姿ではHAPS計画がある。成層圏ヘソーラー発電装置と基地局を備えた飛行機を飛ばし、次世代のネットワーク基地とする。障害物がないため電波は途切れることなく、スマートフォンがそのまま使用できる。

次はスマートシティー。近く完成する竹芝モデルビルは建設・不動産管理・ソフトバンクのコラボ事業。ソフトバンクテクノロジーを駆使し、ビル案内から防災まですべてを管理する。

岐阜市と地域活性化で連携協定

○…高齢化社会の到来で自治体と交通業者が連携、地方が抱える課題を総合的に解決する情報通信技術(ICT)も軌道に乗り始めている。

自治体との連携は愛知県で始まっており、岐阜県では岐阜市とソフトバンクが教育・人材育成・観光・防災・交通、キャッシュレスなどの8分野で包括連携協定し、地域活性化に取り組む。5G活用社会はもう進み始めている。

今年もIoT/AI研修会を開催

製造現場で

効果のある研修会①②

工業組合は2月3日と21日の2回に分け、IoT/AI研修会を開催した。今年度は『製造現場で効果のある研修会』をテーマに、ソフトピアジャパンの協力を得て実施した。

① AIツール導入と使用方法

新開発されたソフトウェアを紹介

第1回研修会は、県ふれあい会館会議室で『ここまでできる製品の自動検査』と『現場の苦労を助けるAIツールを学ぶ』で二つのAIツールを学習した。ツールは㈱シーイーシーが開発した『ワイズイメージング』と、㈱クロスコンパスが開発した『マニファシア』をプロジェクター画像を見ながら詳細な説明を受けた。

《製造現場の外観検査・画像検査ソフト＝ワイズイメージング》は、製造現場の外観検査・画像検査のソフトウェア。検査画像の学習で高精度を実現するだけでなく、従来、自動化が困難だった検査にも、適用可能な汎用性と柔軟性を備えている。製造現場には様々な外観検査があり◇キズ検査（汚れ・異物・破損）◇方向、表裏、形状の判断◇有無の判断、欠陥分類の判断を適用できる。したがって過検査の抑制と再検査作業の軽減、目視検査の自動化で効率アップ、設計も素早く導入・展開できる。

AI
ツールの
ソフト
研修



《音・振動データからAIでデジタル解析＝マニファシア》は、㈱クロスコンパスが開発したソフトウェアで、製造業の技術・技能を継承する後継者不足の解決を目指し、開発した監視とデータ解析ツールである。

開発に当たっては先端AIを身近に汎用化しており画像・音・振動の時系列データにより◇ライン装置を監視し、リアルタイムに異常を検知◇熟練検査員による判断基準をデジタル化・継承◇最適なタイミングで消耗品を交換◇均一した品質レベルの製品製造に向けた最適なパラメータ予測◇ロボット制御を簡単に実施◇異常品を作り込む原因の追及一など、経験による判断から定量的な判断を可能にしている。

② ロボットシステムの導入

成形加工現場に必要な知識と技術

第2回は『成形加工現場のためのロボットシステム導入入門』がテーマで、ソフトピアジャパンと㈱ブイ・アール・テクノセンターの協力のもと、成長産業人材育成センターにある岐阜県ロボットSIセンターで実施した。

内容は午前『ロボット導入の知識』午後はロボットデモ施設の前で『導入のための技術』を学んだ。導入知識では①生産能力の向上②生産額のアップ③経費節減④従業員の能力アップを目的とする生産カイゼン知識を得た。

生産カイゼンへのステップは◇最初にカイゼン担当部署・担当者を決める。経営者や製造リ

ロボットの知識と技術研修



ーダー以外の人が望まれる◇工程・工場レイアウトなど生産工程を分析する◇何をしたいか経営者だけでなく各部門・担当者の意見を聞く◇カイゼンのねらいを明確化する◇投資予算、間接費用を積算する◇導入効果や価値観を検証ー

して、最後に経営者の判断を求める。

導入支援では「生産技術コンサルティングやブイ・アール・テクノなど中部地方に25社あるシステム・インテグレータを活用してほしい」と話していた。(研修会資料は組合事務局で保管)

名古屋 吹上で 新素材・ロボット・AI・IoTの次世代技術展

名古屋国際見本市委員会は2月5・6日、名古屋市の吹上ホールで『第9回次世代ものづくり基盤技術産業展』を開催した。テーマは“ものづくり”を切り拓く先端加工技術で、同時に“ものづくり”を考える2日間、講演会・セミナーを延べ60回開講し、新製品や新技術情報を発信した。

展示会場は4部門に分かれ、ものづくり技術では75企業・団体・大学(岐阜県からは8企業・団体)が出展参加、幅広い技術を紹介した。

エレクトロニクスは27企業・団体で自動運転



会場の全景と人型ロボット・アームの展示

や電動化技術に加え、5G・AI・IoTが広げた電子・情報関連事業や研究成果を紹介した。

ロボット技術は11企業・団体で、AIにより進化したロボットの研究開発成果を展示した。注目されたのは愛知県が長久手に次世代ロボット研究所、また名古屋市は鶴舞にロボット・IoTセンターを開設し、取り組む事業を紹介していた。

またロボット関連では10月に愛知県国際展示場(愛知スカイ)で開くロボット国際大会、来年から3年連続ポートメッセで開催するロボカップジュニアが紹介され、ロボット産業は盛り上がりそう。

AI・IoTの新時代を迎えた組み込み技術も盛んで、25企業・団体が出展し最新情報を発信した。

公取の下請法クイズチャレンジ・第2回

公正取引委員会中部事務所第2回目の下請法クイズ(会報13頁)の解答は次の通り。

《ステップ1》①適当②③は不適当。①運送は資本金区分に照らして判断する。Cさんの会社の資本金は1億円であり「親事業者の資本金1千万円超3億円以下の範囲に該当する。その場合、委託先の運送業者の資本金が1千万円以下(個人を含む)の範囲に該当すれば下請け取引に該当する」。

《ステップ2》①②は不適当③が適当③は下請業者の責めに帰すべき理由がないのに下請業者の給付を受講する前に発注を取り消すことにより、下請け事業者の利益を害し「不当な給付内容の変更又は不当なやり直しの禁止」(下請法第4条第2項第4号)の規定に違反する。(解説は組合へ)

事業所数 6 位、従業者数 3 位、出荷額 3 位、付加価値額 5 位

平成30年度・県工業統計確報によるプラスチック製品製造業の規模

岐阜県がこのほど発表した『平成30年工業統計確報』（従業者 4 人以上）によると、平成30年のプラスチック製品製造業は県内他産業に比べて堅実な業績を見せたが、生産性を示す付加価値額は伸び悩んだ。県内製造業全体の順位をみると、事業所数は 6 位、従業者数では 3 位、製造品出荷額も 3 位、付加価値額では 5 位、従業者 1 人当たり付加価値額も 5 位にとどまった。1 人当たり付加価値額をみると、全県一人当たり 982 万円を 67 万円も及ばなかった。

事業所減少し製品出荷額は増加

《県全体の概要》 今回発表された30年工業統計確報は組合会報236号掲載の速報値は修正されたが、大きな変化は無い。事業所数と従業者数は最新の数値で、県全体の確報数値は速報に比べてやや増えている。確報による概況は、
◇事業所数は5621事業所で、前年に比べ100事業所減少（前年比1.7%減）した。

◇従業者数は20万1329人、前年比で2554人増加（前年比1.3%増）した。

◇製造品出荷額は 5 兆 6271 億円で、前年比 2418 億円増加（前年比 4.5% 増）した。

◇付加価値額では 1 兆 9777 億円で 195 億円増加（前年比 1.0% 増）した。

出荷額の規模を圏域別に見ると①中濃②岐阜③西濃の順で、いずれも 1 兆円を超える。東海環状自動車道など環境立地の変化や、工場の新増設から 3 圏域の今後が注目される。

業界の付加価値額はいぜん 5 位

《産業別順位》 県内製造業の規模別順位は、
◇事業所数は①窯業土石②金属製品③生産用機器④繊維工業⑤食料品⑥プラスチックの順。
◇従業者数では①輸送用機器②金属製品③プラスチック④窯業土石⑤食料品の順。
◇製造品出荷額は①輸送用機器②生産用機器③プラスチック④金属製品⑤窯業土石の順。

◇付加価値額では①輸送用機器②金属製品③生産用機器④化学工業⑤プラスチックの順。

プラスチック製品製造業は事業所数 6 位、従業者数 3 位、製造品出荷額も 3 位、付加価値額では 5 位の順位が確定した。

平成30年・岐阜県プラスチック業界の規模 （従業者 4 人以上）

◇事業所数＝423事業所

（前年比0.7%減、3事業所減）

（県産業に占める構成比7.5%）

（産業別順位は 6 位）

◇従業者数＝1 万 8080 人

（前年比0.1%減、15人減）

（県産業に占める構成比9.0%）

（産業別順位 3 位）

◇製造品出荷額＝4814億7500万円

（前年比2.6%増、123億1300万円）

（県産業に占める構成比8.6%）

（産業別順位 3 位）

（一人当たり製造品出荷額2663万円）

◇付加価値額＝1654億6500万円

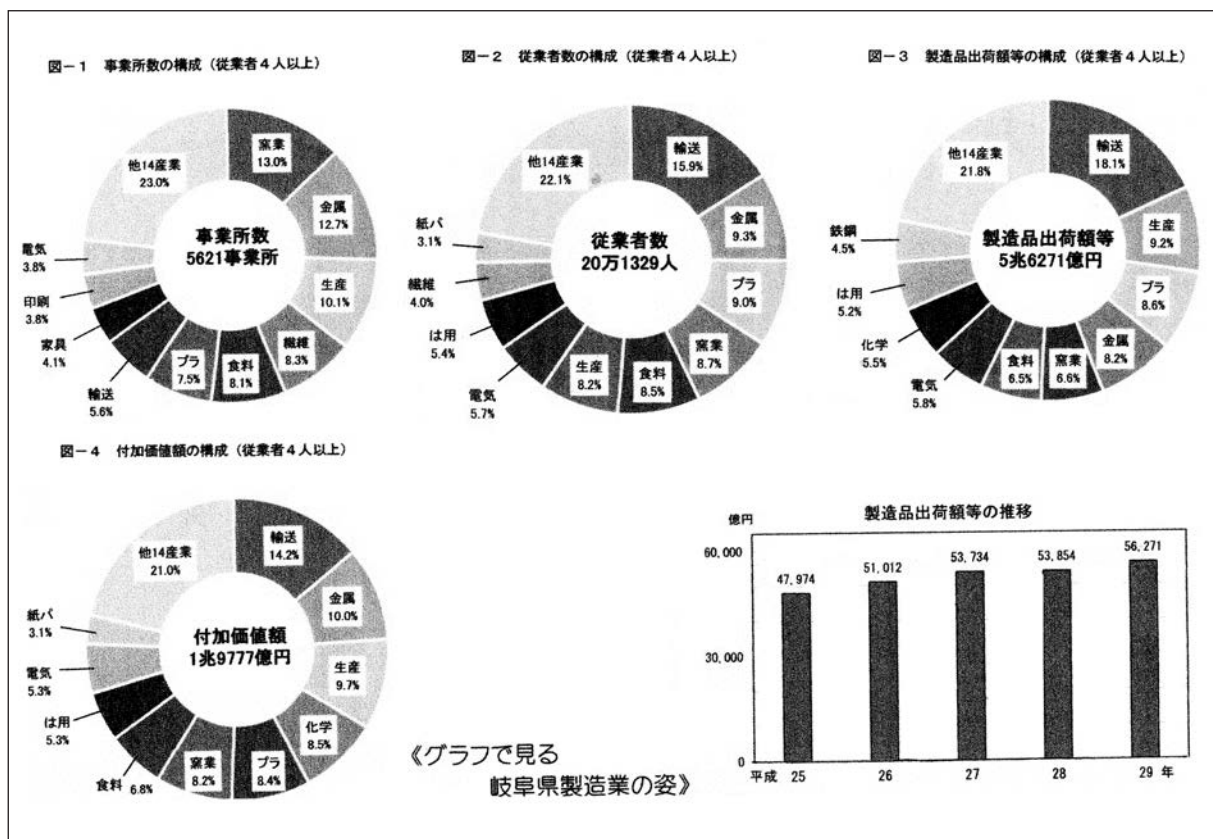
（前年比2.4%増、38億9400万円）

（県産業に占める構成比8.4%）

（産業別順位 5 位）

（1 人あたり付加価値額915万円）

（同県産業平均付加価値額982万円）



リーマン直前の出荷額を上回る

《プラスチック製品製造業の概況》 確報から

プラスチック製品製造業をみると、

◇事業所数は423事業所、前年比3事業所減。

◇従業者数は1万8080人、前年比15人減。

◇製造品出荷額4814億7500円、前年比123億1300万円増。

◇付加価値額1654億6500万円、前年比38億9400万円増。

プラスチック製品製造業の出荷額は、輸送用機器や生産用機器と並んで順調に伸び、県産業ではいち早くリーマンショック直前(平成19年)出荷額4802億円を12億円ながら超えた。

しかしセンサス調査によるプラスチック製品製造業の全国順位をみると伸び率は低い。調査による全国出荷額は12兆3204億1500万円で、都道府県別順位は①愛知②茨城③大阪④埼玉⑤滋賀⑥静岡⑦栃木⑧広島⑨群馬⑩三重⑪神奈川⑫

兵庫⑬岐阜…となる。岐阜県は急成長した神奈川県に追い抜かれ順位を下げている。

期待される業界の生産性の改善

《伸び悩む付加価値額》 生産性の指標であるプラスチック製品製造業の付加価値額は1654億6500万円で、前年実績より2.4%増えた。県産業別順位は、主力業界5位のままである。

従業者1人当たり付加価値額は、速報数値をさらに下げ915万円へとダウンし、岐阜県産業平均982万円を67万円も下回った。全国プラスチック製品製造業の1人当たり付加価値額は1000万円を超えたのに、岐阜県の実績の低さはいぜん改善されず、対応策が望まれる。

推測される理由は①原油高・原材料高・消費増税・人件費高など悪材料が重なり、生産コストが上昇、価格(納品価格)に転嫁できない②工場新增設が相次ぎ従業者が増加した③省力化・省人化への設備投資の遅れ一などが考えられる。

施設と経営のあり方で懇談

◇新事業・

青年部の組合員企業訪問◇

―(株)フクシマ化学の新社屋を見学―

組合青年部（山岡大輔部長）は新事業として組合員企業の施設訪問を開始した。第1回は(株)フクシマ化学(福島康貴社長)が美濃加茂市加茂野町今泉に完成した新社屋で、青年部員は見学後、施設と企業経営のあり方で懇談した。

本社機能に福利厚生施設を設置

新社屋は主力の第2工場隣接用地に建設した2階建て、本社機能に福利厚生施設を加えた新社屋で、規模は延べ1700平方メートル。1階は多くの人が出入りする玄関ロビーにギャラリーを設けた。会社や業界の歴史、社内や地域情報を幅広く展示、隣り合う部屋は自社製品活用のシャワーブースで、仕事の疲れを癒してもらう。

2階は管理部門・ミーティングルームの本社機能で、渡り廊下で工場と直結するエリアにはカフェ、フィットネスルーム、コミュニケーション



上からギャラリー



社員の休憩エリア



社長と青年部の懇談

ョンホールを備えた。案内した福島社長は「デザインや用途にこだわり、同時に楽しく働きやすい健康職場づくりを考え、より質の高いコミュニケーションの場にしたい」と説明した。

見学後、施設と経営をテーマに懇談し、福島社長は「部品生産企業はメーカーの考える先を見通し、企画の段階から売り込む。それが小さなロットであっても、企画を持ち込むことにより大きく育つ可能性が見い出せる」。IoT導入では「成形工場中心に自動化が進んでおり、今後は大量生産より工場の質に力を入れる」と話した。

◎射出成形の受検申請を受付開始◎

工業組合は令和2年度の前期技能検定『プラスチック成形・射出成形作業』の申請を4月3日(金)まで受け付ける。組合では検定スケジュールに合わせ知識説明と操作説明の『事前説明会』を開催、希望者には『技能確認講習会』を行う。実技検定は6月から8月に実施し、学科試験は8月23日(日)、合格者発表は10月2日(金)を予定。

Plus New Idea

射出成形の未来を拓く。

日精樹脂工業は、お客様が抱える成形加工における煩わしさの低減や付加価値の高いモノづくりに向けた多彩な技術提案をさせていただきます。

射出成形をトータルサポート

成形材料
成形工法

金型
自動化システム
周辺機器

射出成形機

2色・異材質

複合材成形

厚肉成形

インサート成形

MIM

多層成形

LSR

PIM

高性能射出成形機
NEX-III Series (電気式)
FNX-III Series (ハイブリッド式)

NISSEI

射出成形機・金型・成形変換システム
日精樹脂工業株式会社
本社：工場ノズ389-0603 長野県埴科郡埴科町南幸2110
[営業部]TEL:0268-81-1050 FAX:0268-81-1551
<http://www.nisseijushi.co.jp>

— 5月21日（木）会場はグランヴェール岐山 —

令和2年度の通常総会を開催

講演は女性エジソン・石川耀弓さん

工業組合は5月21日（木）岐阜市内にあるグランヴェール岐山で『第52回通常総会』を開催する。総会は午後4時開会、議案審議後、記念講演会に続いて記念パーティーを開催し、新しい節目2020年代に向けて懇親する。

総会は①令和元年度事業計画と収支決算②令和2年度事業計画と収支予算③令和2年度賦課金及び納入方法④令和2年度取引金融機関と借入金最高限度額一の4議案を審議する。講演会の講師は(株)ダヴィンチ・ブレインズ

の石川耀弓代表を招く。



石川耀弓講師

講師は電子シャッターの開発者

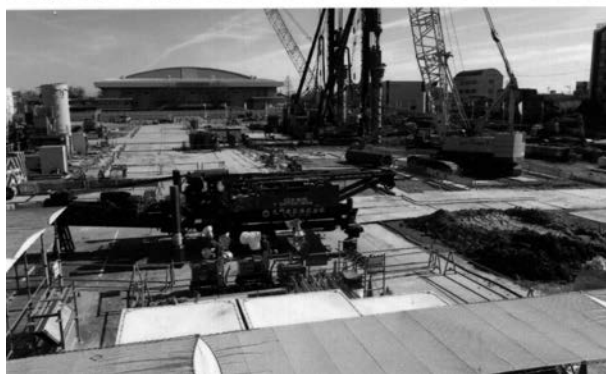
石川講師は慶応大学院で工学研究し、ソニーへ入った女性修士エンジニア第1号。デジカメ電子シャッターを開発して全国発明表彰され、女性エジソンと呼ばれた。退社後、東工大で学び直し、経営工学普及活動に転進された。講演会では『企業のキラリと光る技術をビジネスに代える』（仮題）の話を聞く。

建設進む県市の新庁舎

— 大垣市は完成、岐阜市は3年、県は4年 —

さる1月6日に大垣市の新市庁舎が完成しオープンした。続いて岐阜市の新市庁舎と岐阜県

の新県庁舎の建設工事が進んでいる。岐阜市の新市庁舎は令和3年1月完成、岐阜県の新県庁舎は令和4年度の完成を目指している。



工事進む岐阜市の新市庁舎と岐阜県の新県庁舎



1月に完成オープンした大垣市の新市庁舎

岐阜県のプラスチック 2020年 第239号

令和2年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

中小企業庁の情報発信



中小企業庁ホームページ

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

中小企業庁

検索

中小企業施策に関する最新情報をはじめ、金融・税制などの情報や助成金の公募状況、関連イベントの開催情報などを提供しています。
パンフレットやチラシなどのネット申込みやダウンロードも可能です。



携帯電話で中小企業施策情報にアクセス！
新着情報はもちろん、外出先でも役に立つ情報が手軽に入手できます。モバイル中小企業メールマガジン（水曜日配信）もぜひご登録ください。

モバイル中小企業庁

<http://chusho.mjmk.jp>



各種出版物

各種冊子については、中小企業庁のサイトにて直接お申し込みください。その際、中小企業支援機関以外の方については送料をご負担いただいております。発送スケジュールがありますのでサイトをご確認ください。個別発送は行っておりません。

編集・発行

〒100-8912 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1

中小企業庁 広報室 03-3501-1709

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

ノバテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い熔融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い熔融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

ファンクスター®

射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維強化ポリプロピレン

PP 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500



下請法クイズ



下請法の理解に役立つ下請法クイズを今年も作ったよ！
是非一度チャレンジしてみてね♪
クイズはステップ1（下請法の適用範囲）とステップ2（親事業者の義務・禁止事項）の2種類あるよ♪



【ステップ1】

Q Cさんは、資本金1億円の運送会社に勤務しており、外注先への発注業務を担当しています。ある日、荷主から大量の貨物の運送を請け負ったため、これを他の運送業者に対して再委託しようと考えています。

この再委託は、どのような条件が満たされれば下請取引に該当することになるでしょうか。次の①～③の中から適当と思われるものを選んでください。

- ① 他の運送業者の資本金が1000万円以下であること。
- ② 他の運送業者と継続的に取引をしていること。
- ③ 他の運送業者が運送の専門業者であること。

【ステップ2】

Q Dさんは、資本金6000万円のビルメンテナンス会社に勤務しており、清掃業務を委託している下請事業者との価格交渉や発注業務を担当しています。

次の①～③に掲げるDさんが採った行動は、下請法を遵守する観点から適当といえるでしょうか。

- ① 客先であるビルオーナーとの価格交渉が長引いたため、委託料の欄を空欄のまま発注書面を交付した。
- ② 下請事業者から単価の引上げを求められたが、下請事業者から理由を聞かずに、一方的に従来どおりに単価を据え置いた。
- ③ 客先からの発注がキャンセルされたことを理由に、下請事業者への発注を取り消し、発注を取り消すまでに下請事業者が要した費用を自社が全額負担した。



本社と岐阜工場の成形工場

ムトー精工株式会社は、金型技術・成型加工技術を追求することにより、進化するプラスチックを高品位・高品質な部品として社会に届けることを使命としています



ムトー精工株式会社

〒509-0147 岐阜県各務原市鵜沼川崎町1-60-1 TEL 058-371-1100

URL <http://www.muto.co.jp>